

令和6年度入学 一般選抜後期日程
理科（化学） 講評

第1問

【出題のねらい】

イオン結合について、基本的な用語や化学反応に伴う物質の体積変化、構造式の理解度を問うた。

【講評】

全体的に正答率が高かった。特に用語や構造式についての正答率が非常に高かった。一方で、化学反応に伴う物質の体積変化については正答率が低かった。化学反応による体積変化に関する計算力を身につけてほしい。

第2問

【出題のねらい】

アルカリ金属に関する基本的な用語や、それらの性質、実験操作と連動する化学反応式を問うた。

【講評】

全体的に正答率が高かった。特に用語や性質、実験操作と連動する化学反応式についての正答率が高かった。一方で、加熱を伴う化学反応式については、正答率がやや低かった。実験操作により異なる化学反応について、明確にイメージする力を身につけてほしい。

第3問

【出題のねらい】

糖類の基本的な性質と関連する、数値的な理解についての出題である。還元糖の性質と構造式の関係や、基本的な計算力を身につけているかを問うた。

【講評】

正答率は全体的に高かった。ただし、計算問題については苦勞していたようである。基本的な部分については、教科書を中心に学習してもらいたい。また、計算問題に関しては、途中の計算式も記述しながら、順序を立てて着実に解答してもらいたい。

第4問

【出題のねらい】

気体の性質に関する問題であり、基本的な性質や法則に関する知識、それらを用いた計算を伴う、

定量的な理解度を問うた。

【講評】

ボイル・シャルルの法則に関する部分までは正答率が高かった。しかし、気体の状態方程式を用いる計算、理想気体の性質、混合気体の物質質量比に関する部分では、正しく理解できていないと思われる解答が多かった。基本的な計算だけではなく、気体の性質に関する知識や物質質量、質量、分圧に関する理解度も深めてほしい。